



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月30日

上場会社名 フィード・ワン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2060 URL <https://www.feed-one.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）庄司 英洋
 問合せ先責任者 （役職名）管理本部財務経理部長 （氏名）木村 寧志 TEL 045-211-6520
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	78,443	9.0	2,140	45.0	2,360	26.7	1,761	7.6
2026年3月期第1四半期	71,973	△3.1	1,476	13.8	1,862	14.8	1,637	25.6

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 1,816百万円（△6.6%） 2026年3月期第1四半期 1,946百万円（7.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	46.03	—
2026年3月期第1四半期	42.85	—

（参考）

	EBITDA	
	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,448	20.2
2026年3月期第1四半期	2,869	11.6

（注）EBITDA＝経常利益＋支払利息－受取利息＋減価償却費及びのれん償却費

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	135,783	63,254	46.1
2026年3月期	133,020	62,385	46.4

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 62,542百万円 2026年3月期 61,686百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	21.00	—	24.50	45.50
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		26.00	—	26.00	52.00

（注）1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 2026年3月期中間配当金の内訳 普通配当 16円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	317,000	9.1	8,500	5.1	8,800	2.2	6,500	1.9	169.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	38,477,128株	2026年3月期	38,477,128株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	208,215株	2026年3月期	207,984株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	38,269,044株	2026年3月期1Q	38,224,071株

（注）期末自己株式数には、「株式会社日本カストディ銀行（信託口）」が保有する当社株式（2027年3月期1Q 205,772株、2026年3月期205,772株）が含まれております。また、「株式会社日本カストディ銀行（信託口）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2027年3月期1Q205,772株、2026年3月期1Q251,560株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示し、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日から2026年6月30日まで）のわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大を背景に、個人消費及び設備投資が底堅く推移し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の継続に加え、米国の通商政策の動向や地政学リスクの高まりによる金融市場及び為替相場への影響等が懸念されており、先行きは不透明な状況が続いております。

飼料業界におきましては、主原料であるとうもろこし価格は、主産地である米国における順調な作付け・生育状況や南米産とうもろこしの供給増加観測を背景に軟調に推移いたしました。一方で、海上運賃の上昇や円安基調の継続により、当社では2026年4～6月期の畜産用配合飼料価格を前四半期に対して値上げいたしました。

畜産物相場につきましては、豚枝肉相場は2025年夏の酷暑影響による肉豚の出荷頭数減少を背景に高値で推移し、前年同期を上回りました。鶏卵相場は、各地で発生した鳥インフルエンザの影響による供給逼迫が緩和し、生産量が徐々に回復していることから、前年同期を下回って推移いたしました。

こうした環境にあって、当社グループは2025年3月期を初年度とする「中期経営計画2026～1st STAGE for NEXT 10 YEARS～」の最終年度として、これまで推進してきた「積極的な設備投資」、「製造の効率化」、「グループ経営の高度化」及び「人的資本への投資」の成果を基盤として、数量拡大型から付加価値・ソリューション型への事業モデルの転換を進め、更なる成長と企業価値の向上に努めてまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は784億4千3百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は21億4千万円（前年同期比45.0%増）、経常利益は23億6千万円（前年同期比26.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億6千1百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

また、設備投資計画の確実な実行と資本コストを意識した経営を実現するため、EBITDA及びROICを経営指標として導入しております。当第1四半期連結累計期間のEBITDAは次のとおりであります。

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比 (%)
経常利益	1,862	2,360	+26.7
支払利息	56	67	+19.2
受取利息	0	0	△4.1
減価償却費及びのれん償却費	951	1,021	+7.4
EBITDA	2,869	3,448	+20.2

(注) EBITDA＝経常利益＋支払利息－受取利息＋減価償却費及びのれん償却費

セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

① 畜産飼料事業

セグメント売上高は590億1千2百万円（前年同期比4.6%増）、セグメント利益は27億2百万円（前年同期比16.6%増）、セグメントEBITDAは34億1千6百万円（前年同期比14.6%増）となりました。

畜産飼料の販売数量が前年同期を上回ったことに加え、販売価格の改定により平均販売価格が上昇したこと等により、増収・増益となりました。

② 水産飼料事業

セグメント売上高は78億1千8百万円（前年同期比50.1%増）、セグメント利益は2億1千万円（前年同期比30.4%減）、セグメントEBITDAは3億6千1百万円（前年同期比18.2%減）となりました。

水産飼料の販売数量が前年同期を大きく上回ったことにより増収となったものの、主原料である魚粉価格の高騰の影響等により、減益となりました。

③ 食品事業

セグメント売上高は116億1千万円（前年同期比12.2%増）、セグメント利益は1億1千万円（前年同期は1千4百万円のセグメント損失）、セグメントEBITDAは1億6千8百万円（前年同期比277.6%増）となりました。

鶏卵部門においては、販売数量が増加したことに加え、鶏卵相場が前年同期を下回って推移したこと等により、増収・増益となりました。食肉部門においては、豚枝肉相場が上昇する中、前年同期並みの収益となりました。

④ その他

セグメント売上高は1百万円（前年同期比40.5%減）、セグメント利益は3千3百万円（前年同期比92.7%増）、セグメントEBITDAは3千3百万円（前年同期比91.2%増）となりました。

「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。なお、海外事業は持分法適用関連会社のため、売上高の計上はなく、セグメント利益及びセグメントEBITDAは主に持分法投資損益の計上であります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、1,357億8千3百万円（前期末比27億6千3百万円増）となりました。主な要因は、原材料及び貯蔵品が5億7千万円減少した一方、現金及び預金が7億3千7百万円増加、受取手形及び売掛金が24億3千7百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、725億2千9百万円（前期末比18億9千4百万円増）となりました。主な要因は、未払法人税等が11億1千万円減少した一方、支払手形及び買掛金が27億1千8百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、632億5千4百万円（前期末比8億6千8百万円増）となりました。主な要因は、利益剰余金が配当金の支払いにより9億4千2百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により17億6千1百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想及び配当予想につきましては、2026年5月8日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,138	11,876
受取手形及び売掛金	40,443	42,881
電子記録債権	6,541	6,812
商品及び製品	2,656	2,553
原材料及び貯蔵品	14,633	14,062
動物	402	392
その他	2,755	2,849
貸倒引当金	△98	△102
流動資産合計	78,472	81,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,119	13,572
機械装置及び運搬具（純額）	9,408	9,761
土地	6,532	6,532
リース資産（純額）	676	668
建設仮勘定	8,004	7,220
その他（純額）	1,056	1,052
有形固定資産合計	38,797	38,807
無形固定資産		
その他	1,345	1,299
無形固定資産合計	1,345	1,299
投資その他の資産		
投資有価証券	13,566	13,527
長期貸付金	87	87
破産更生債権等	226	197
繰延税金資産	195	199
その他	617	619
貸倒引当金	△288	△280
投資その他の資産合計	14,404	14,350
固定資産合計	54,547	54,457
資産合計	133,020	135,783

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,060	33,778
短期借入金	1,294	1,293
リース債務	153	156
未払法人税等	2,002	891
賞与引当金	911	1,354
その他	7,076	7,184
流動負債合計	42,497	44,659
固定負債		
長期借入金	23,326	23,153
リース債務	562	548
繰延税金負債	1,538	1,479
役員株式給付引当金	122	128
退職給付に係る負債	2,286	2,283
資産除去債務	59	59
持分法適用に伴う負債	167	148
その他	73	66
固定負債合計	28,136	27,870
負債合計	70,634	72,529
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	9,791	9,791
利益剰余金	37,099	37,918
自己株式	△172	△173
株主資本合計	56,718	57,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,433	4,415
繰延ヘッジ損益	115	152
為替換算調整勘定	247	269
退職給付に係る調整累計額	171	168
その他の包括利益累計額合計	4,968	5,005
非支配株主持分	698	711
純資産合計	62,385	63,254
負債純資産合計	133,020	135,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	71,973	78,443
売上原価	64,111	69,818
売上総利益	7,861	8,625
販売費及び一般管理費	6,385	6,484
営業利益	1,476	2,140
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	129	172
持分法による投資利益	288	51
備蓄保管収入	34	36
その他	60	41
営業外収益合計	513	302
営業外費用		
支払利息	56	67
その他	71	15
営業外費用合計	127	82
経常利益	1,862	2,360
特別利益		
固定資産売却益	91	3
投資有価証券売却益	—	216
特別利益合計	91	219
特別損失		
固定資産売却損	41	1
固定資産除却損	3	2
特別損失合計	44	4
税金等調整前四半期純利益	1,909	2,575
法人税、住民税及び事業税	483	852
法人税等調整額	△219	△56
法人税等合計	263	795
四半期純利益	1,645	1,779
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,637	1,761

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,645	1,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	292	△17
繰延ヘッジ損益	68	36
退職給付に係る調整額	1	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△62	21
その他の包括利益合計	300	37
四半期包括利益	1,946	1,816
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,938	1,798
非支配株主に係る四半期包括利益	7	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	畜産飼料 事業	水産飼料 事業	食品事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	56,415	5,208	10,345	71,969	3	71,973	—	71,973
外部顧客に対する売 上高	56,415	5,208	10,345	71,969	3	71,973	—	71,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,392	35	4	1,431	0	1,431	△1,431	—
計	57,808	5,244	10,349	73,401	3	73,405	△1,431	71,973
セグメント利益又は 損失(△)	2,318	302	△14	2,606	17	2,623	△760	1,862

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。なお、海外事業は持分法適用関連会社のためのため、売上高の計上はなく、セグメント利益は主に持分法投資損益の計上であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△760百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益△760百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び金融収支であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	畜産飼料 事業	水産飼料 事業	食品事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	59,012	7,818	11,610	78,441	1	78,443	—	78,443
外部顧客に対する売 上高	59,012	7,818	11,610	78,441	1	78,443	—	78,443
セグメント間の内部 売上高又は振替高	100	27	4	132	0	132	△132	—
計	59,112	7,846	11,614	78,573	2	78,575	△132	78,443
セグメント利益	2,702	210	110	3,023	33	3,056	△696	2,360

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。なお、海外事業は持分法適用関連会社のためのため、売上高の計上はなく、セグメント利益は主に持分法投資損益の計上であります。

2 セグメント利益の調整額△696百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益△698百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び金融収支であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	951百万円	1,021百万円